



## 河川水質検査結果のお知らせ

町内河川の汚れの度合いを検査

間 地球温暖化対策室（農林環境課内）☎ 43-9023

採水場所	町内各河川のBOD値経年変化			
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	平成18年度
奥山川（大藪橋）	ND	0.7	0.7	1.4
岩屋川（青田橋）	ND	0.7	0.9	1.1
水戸川（川尻橋）	ND	1.9	0.7	0.7
香河川（浅郷橋）	0.7	0.7	0.8	0.7
野田川（堂谷橋）	ND	0.8	0.6	0.8
野田川（大江山橋）	ND	ND	0.7	0.5
野田川（三村橋）	ND	0.6	1.2	0.7
野田川（岩瀧橋）	ND	0.7	0.5	0.7
滝川（滝川橋）	ND	0.7	0.6	ND
温江川（西光寺橋）	ND	0.7	0.9	0.6
加悦奥川（宮野橋）	ND	0.9	0.9	0.6
亀山川（砂原橋）	0.9	1.1	0.8	1.4
三田川（三田橋）	0.7	0.8	1.0	0.6
男山川（男山大橋）	ND	0.6	0.6	0.7

※ ND・・・定量下限値(0.5)未満

与謝野町では、年に一度、町内を流れる河川の水質検査を行っています。検査結果は、河水の汚れの程度を表す「BOD（生物化学的酸素要求量）」で示します。BODとは、微生物が水中の汚濁物質を分解するため必要とする酸素量のことです。BOD値が大きいほど水質汚濁が著しく、きれいな状況であると言えます。また、0・5を超えた場所も前年と同値、または減少しております。より良好な結果となっています。

阿蘇海の周辺地域では、美しい阿蘇海を取り戻そうと地域や各種団体でさまざまな活動が行なわれてきました。そのような中、京都府、宮津市、与謝野町をはじめ有識者や自治会など、阿蘇海を取り巻く幅広い分野の団体が集まり立ち上げた「阿蘇海環境づくり協働会議」と本町では、小・中学生に向けた阿蘇川や阿蘇海流域の環境学習や阿蘇海等環境ポスター・コンクールを実施。また、地元では野田川や阿蘇海の清掃を実施されるなど、皆さんの取り組みが進んでいます。により阿蘇海に水質浄化が続き、阿蘇海の浄化が進んでいます。おまけに環境保全に向けたご協力をお願いします。

### 阿蘇海の浄化に向けた取り組み

## 公の施設の指定管理者を指定しました

間 財産活用・契約室（総務課内）☎ 43-9010

4月1日から指定管理者が更新される施設の指定管理者が、令和6年与謝野町議会12月定例会において議決を受けて正式に指定されましたのでお知らせします。

施設名	所管課	指定管理者名	指定期間
与謝野町立阿蘇霊照苑（火葬場）	農林環境課	株式会社セレモニーまつだ	令和7年4月1日～12年3月31日（5年間）



## 最後まで「自分らしく」生きるために

11月30日は「人生会議の日」

間 地域包括支援センター（福祉課内）☎ 43-9021



パネルディスカッションの様子

本セミナーでは、「住み慣れた地域であなたらしい生活を、あなたの大切にしている事は何ですか？」をテーマに、終末期を迎えた本人とその家族が住いました。

月30日、生涯学習センターと知遊館において「与謝野町在宅療介護連携事業セミナー」を開催し、人生会議（ACP）についてドキュメンタリー映画や基調講演、パネルディスカッションによる紹介、啓発を行いました。

過ごすことを通して、その方の人生を豊かなものとすることを目的としています。当日は70人を超える参加があり、「とても勉強になつた」「人生会議の大切さがわかった」「自分たちのこととして考えていかなければ」など、さまざまな感想が寄せられ、それぞれの終末期について考えるきっかけとなりました。

「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング／略称ACP）とは？」人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、患者本人と家族などの身近な人、医療従事者などが事前に繰り返し話し合う取り組みのことをいいます。厚生労働省が毎年11月30日（いい看取り・看取られ日）を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日としています。



## 安心して暮らしやすい地域をめざして

障害者週間の取り組み

間 福祉課 ☎ 43-9021



毎年12月3日から9日までは「障害者週間」です。この1週間は、障害者が社会、経済、文化、そのほかの間に広く基本法に基づき、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、そのほかあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されています。

この障害者週間を知つてもらうため同期間中、役場加悦庁舎ロビーにおいて障害のある方が作られた作品などを展示し、普段の活動などの紹介を行いました。また、令和6年12月3日には同場所にて、障害者週間を契機に障害のある方への理解が一層深み、安心していきいきと暮らすやすい地域にするため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

広報よさの10月号（No.224）に誤りがありましたので、以下のとおり訂正します。

【P4】オリジナルの婚姻・出生届が完成

上段3行目「作成の経過は～作成したものです」の文中に、一部、確認ができない内容が含まれていましたので、この一文を削除いたします。確認が不足しており申し訳ございませんでした。

訂正